




2025年3月6日  
株式会社 PIJIN

## 2025年大阪・関西万博パビリオン 「電力館 可能性のタマゴたち」で多言語対応に QR Translator を活用

電気事業連合会（以下「電事連」）は、同会が2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」）に出展するパビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」（以下、「電力館」）において、館内説明を世界各国からの来館者に正しく伝えるため、株式会社PIJIN（以下、「PIJIN」）が開発・運営するQR Translator®を用いて、32言語の多言語サポートを行う方針を発表しました。この取り組みは、大阪大学言語サークル「GGC」（以下、「GGC」）を含む3団体・組織の共創によって実現しました。



電力館入口へのQRコード掲示イメージ

<p>メインショー - エネルギーの可能性の探索 - 『可能性エリア』</p>  <p>ここでは、エネルギーの特性や面白さにフォーカスし、ゲーム要素を取り入れた展示物をあちこちに配置しています。映像を見るだけでなく、展示物に触れたり、体を使って体験するなど、タマゴ型デバイスを使った体験型アトラクションを通じ、たくさんのエネルギーの可能性を感じていただきます。</p>	<p>Main show Exploring the possibility of energy "Possibility Area"</p>  <p>This area focuses on the characteristics and fun of energy and exhibits game-like display items here and there. Visitors can not only watch exhibits but also touch and move their bodies to experience the possibilities of energy through engaging in physical activities with the egg-shaped device.</p>	<p>主展区 探索能源的可能性 可能性展区</p>  <p>此处，我们将着重展示能源特性与趣味性，并将游戏元素融入各式展品中。您不仅可以观看影像，还能触摸展品或用身体互动。通过各种与蛋型装置互动的体验型设施，您将能够亲身感受丰富的能源可能性。以“核聚变”“潮流发电”等为首，此处将展示约30种开拓未来的能源技术。</p>
---	--	--

日本語

英語

中国語(簡体字)

## ■ 導入背景等

来月から開催される大阪・関西万博の来場者数は、期間中に約2,820万人と予測されており、そのうち、海外からの来場者は約12%の350万人を占める見込みです。海外来場者の国・地域別内訳についての具体的な予測データは公表されていませんが、公式参加者として、160を超える国と地域の参加を予定しており、これらの国々からも多くの来場者が訪れることが見込まれます。

その中で、海外来場者対応については、英語をベースとすることで多くの来場者には情報が伝わるものの、英語を母国語とする人、第二外国語として学んだ人、英語学習者を含めても20～30億人と推定されており、世界人口の80億人からすると約3人に1人の割合となります。

今回、PIJINが提供するQR Translatorは32言語に対応させた特別バージョンで、そのすべての言語をひとつのQRコード<sup>1</sup>から利用者の端末言語に合わせて提供します。また、提供する情報は、AIによって翻訳された内容ではなく、GGCに所属する各言語話者が実際に翻訳・監修した内容に置き換えられています。このことにより、英語に堪能ではない世界各国からの来場者にとっても、電力館の利用説明が母国語、もしくは自身が最も理解しやすい言語によって入手可能となります。対応言語を32言語に拡大することによって、海外来場者の99%以上に対応可能となる見込みです。

電気事業連合会 プレスリリース

[2025年大阪・関西万博パビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」展示案内の多言語サポートについて](https://www.fepec.or.jp/pr/news/oshirase/_icsFiles/afieldfile/2025/03/05/press_20250305-2.pdf)

[https://www.fepec.or.jp/pr/news/oshirase/\\_icsFiles/afieldfile/2025/03/05/press\\_20250305-2.pdf](https://www.fepec.or.jp/pr/news/oshirase/_icsFiles/afieldfile/2025/03/05/press_20250305-2.pdf)

## ■ 多言語表示サービス「QR Translator」について

QR Translatorは、PIJINが開発・提供しているQRコードを使った多言語表示サービスで、ユーザー端末（スマートフォン）の設定言語が自動認識され、自動的にユーザーの使用言語で翻訳文を表示・音声読み上げも行います。

利用者にとっては通常のQRコードと同じなので専用アプリは必要なく、サービス提供側にとっては多くの言語で印刷物を個別に制作する必要がなくなります。また、表示される翻訳文に間違いが見つかった場合でも、クラウド上から修正を行えば、QRコードを再印刷することなく、テキストと音声の両方へ自動反映させることが可能です。

---

<sup>1</sup> 「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

#### ◇ QR Translator の主な特徴

- 専用アプリ不要
- 差し替え不要（クラウド上で簡単にコンテンツの修正・更新が可能）
- 音声読み上げ機能（テキスト情報に基づいてAI音声を自動合成。視覚障害がある方々にも情報提供が可能）
- データ分析機能（個人情報の取得なしで、QRコードが読み取られた場所や言語をグラフ化）
- 知的財産を所有（日本、米国、欧州、中国、韓国等で特許を取得済）

#### ■ 電事連について

電気事業連合会（電事連）は、日本の主要な電力会社で構成される業界団体で、電力事業の円滑な運営と発展を目的として運営されています。政策提言や調査研究、広報活動を行い、電力の安定供給やエネルギー政策に関する情報提供を担います。1972年に設立され、国内外のエネルギー関連機関とも連携しています。

#### ■ GGCについて

阪大言語サークルGGCは、大阪大学を拠点に活動するサークルです。

30か国出身の約160名の部員が在籍しており、言語に関する幅広い活動を行っています。

#### ■ PIJIN について

「世界を言語バリアフリーに」を企業理念に、多言語対応ソリューション QR Translator を開発・運営しています。

本社：〒100-0005

東京都千代田区丸の内1丁目6番2号新丸の内センタービルディング 21階

代表者：代表取締役 高岡謙二

URL：<https://qrtranslator.com/>

#### 【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 PIJIN

担当：藤山

press@qrtranslator.com

03-4531-9690